

厚岸町のへび

弘前大学 片山

厚岸町にはどんなヘビがいるのか？

★町の人達の日撃情報

→ “アオダイショウ”が多い

★実際の調査

→ “シマヘビ”しか見つからなかった！

日撃情報と調査結果が違うのはなぜ？

シマヘビ



学名 : *Elaphe quadrivirgata*

- ◆北海道～九州まで広く分布
- ◆全長80～200cm
- ◆トカゲ・カエル・ネズミなど様々な脊椎動物を食べる

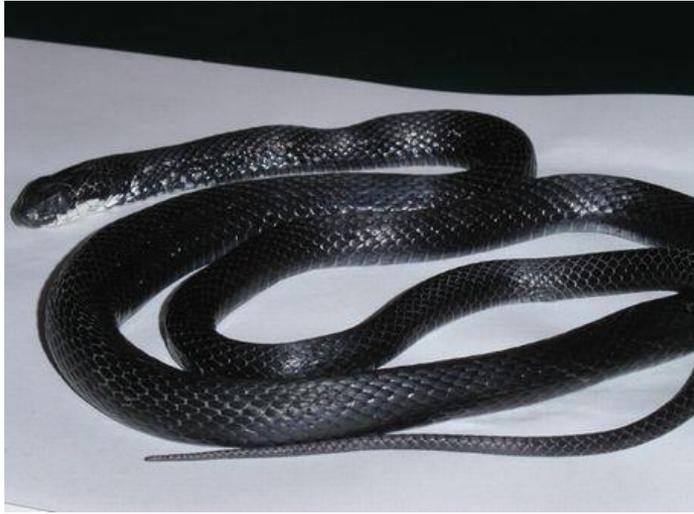
写真: アクアリウム・シリーズ『ザ・爬虫類 & 両生類』より

その名の通り、体に**4本の黒い縦縞**があることが特徴的。

たいていは誰でも一目ですぐ分かるヘビである。

※しかし、実はシマヘビは、色や模様が様々に異なることがある！

色々なシマヘビ



黒化型。通称・カラスヘビ

全身真っ黒。下あごが白く、頭部に白斑があることが多い。

亜成体。頭部と背面に幼蛇の頃の模様が残っている。



ムギワラ型。縦縞が見えないか非常に薄い。



厚岸のシマヘビ(1)



湖南・アッケシソウ試験場



町営牧場・別寒辺牛



町営牧場・セタニウシ

※生態系への影響を考え、今回は捕獲・測定した後、放逐した。
その際、同じ個体を2度捕まえないようにするために中央の写真のように白マジックで短期間用マーキングを施した。

厚岸のシマヘビ(2)



湿原内の橋1



太田造林事業所



太田造林事業所 黒化型(カラスヘビ)



湿原内の橋2

厚岸のシマヘビ(3)

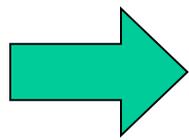


アッケシソウ試験場付近・路上



←このシマヘビの胃内容物
(エゾサンショウウオ)

全部で20匹捕獲し、他の12匹も、写真の8匹のように縦縞がほとんど見られなかった。



縦縞が見られないために、これらのシマヘビはアオダイショウだと勘違いされたのでは？

シマヘビとアオダイショウの見分け方



上から3個体がシマヘビ、
次いでアオダイショウ、
ジムグリ、である。

このように、胴体の模様
だけでは、識別は難しい。

森ら (2005), 爬虫両棲類学会報 2005巻(1) p22~38, 図88



★ 識別 Point ★

シマヘビ(上)は眼が赤いが、
アオダイショウ(下)は赤くない。
ただし黒化型シマヘビは黒い。

これからヘビを見かけた
ら、眼の色にも注目！！



脱皮殻を見分ける



縦縞があるシマヘビの脱皮殻(上)には縦縞が見えるが、縦縞が無い、あるいは薄いシマヘビの脱皮殻(下)には縦縞が見えない。

この場合、右図の数え方で鱗を数えてみると何ヘビか分かる！



原図：原色日本両生爬虫図鑑

★ 識別 Point ★

このように数えた時、胴中央部の鱗の数が、

19(または17)ならシマヘビ

21ならジムグリ

23 か25 ならアオダイショウ である。